



Palau 通信 Alii①



相模原市の皆様、こんにちは(パラオ語では Alii)、2021 年 10 月 10 日よりパラオで JICA 協力隊として活動しております。園尾洋平(そのおようへい)と申します。4 月から長野県の駒ヶ根で 2 ヶ月ほど訓練をした後、本来は 8 月下旬にマレーシアに出発予定(訓練所での訓練言語はマレー語でした)でしたが、コロナの影響もあり、任国がマレーシアからパラオに変更になり、2021 年 10 月 10 日に日本を出発し、パラオでの活動を開始しました。今回はパラオと私自身について知ってもらえればと思います。

自己紹介

JICA 協力隊としてパラオに 2021 年 10 月 10 日より派遣されています。園尾洋平と申します。神奈川県立高校で 5 年間勤務したのち現職教員特別参加制度を利用して JICA 協力隊に参加しています。



志望動機

学生時代にオーストラリアに留学し、その後社会人経験を経て、大学院の時にジャマイカに JICA 協力隊の小学校教育の短期隊員として活動した経験があり、その時の経験から今回は長期で参加したいと考えていました。

パラオ

海がとてもきれいです。観光としてはダイビングを楽しみに来る方が多く、海に関するレジャーが多い国です。魚もとても美味しいです。刺身も食べる文化であり、パラオ人も新鮮な魚は刺身にして食べることもあります。人口が 1 万 8000 人程度しかいない国で、JICA 事務所があるパラオで最も大きな州であるコロールという州に 1 万 1000 人程度が住んでいます(ちなみに首都はコロールではなく、マルキョクです)。そのため、スーパーやレストランや服などを買うようなお店はほとんどコロールにしかありません。公共交通機関もないため、基本的にはみんな車を持っています。



パラオの街の風景

←パラオで一番大きな町のコロール

首都マルキョクの国会議事堂→

